2026．9．25（金）施行

M国 1-1 （一般・留学生）

2027年度　大学院入学試験問題【Ⅰ期】

国際日本学研究科　国際日本学専攻（**博士前期課程**）

科　目：　専門科目　【ポップカルチャー研究領域】

注意１）解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を明記すること。
（例　Ⅰ-(1)、Ⅱ-(2)　）

注意２）希望指導教員の所属する研究領域の問題を解答すること。

Ⅰ．論述問題

次の２題のうち**１題**を選択して、論述しなさい（字数の制限はありません）。

(1) 日本では、マンガ・アニメ・ゲーム・特撮において、少女が魔法や超能力、武器や格闘技などを用い、敵と戦闘を行う作品が多く作られてきた。アメリカのスーパーヒーロージャンルをはじめ、成熟した女性が戦闘を繰り広げる作品は国際的に見受けられる一方、中学生や小学生の年代の少女による戦闘を描く作品が多いことに、日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮の特質があるとする指摘もなされてきた。また近年は、日本の作品のそうした潮流が日本以外の作品に飛び火するようにもなっている。1970 年代以降、年代ごとに代表的な作品名やキャラクター名を挙げながら、少女の戦闘を描く日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品の発達や、複数作品にまたがって見出される類型、時代ごとの描かれ方の傾向を論じなさい。

(2) 同人誌展示即売会「コミックマーケット」は、1975 年の初回以来、50 年以上にわたって開催され続けてきた。その間、会場や開催規模の変化、さまざまなジャンルの盛衰、さらには社会や産業との関わりの変化を経てきた。とりわけ社会や産業との関わりを中心に、日本のポップカルチャーの歴史において重要と考えられる事象を年代ごとに具体的に挙げながら、「コミックマーケット」の半世紀の歴史を論じなさい。

Ⅱ．解説問題

次の(1)～(4)の中から**２つ**を選んで、解説しなさい（字数の制限はありません）。

(1) 株式会社カプコン

(2) 『宇宙戦艦ヤマト』

(3) ちばてつや

(4) 『ちびまる子ちゃん』